

HA. 健康(医療・健康)(VHS)

松江	浜田	分類番号	区分	番組名	内容	実時間
	●	HA2003-067	C-1	金曜フォーラム 子どもとたばこ	喫煙者自身の健康被害はもちろん、身近な人が喫煙することで起こる「受動喫煙」の問題。また、妊婦が喫煙することで胎児にどんな影響が与えるのか等、各分野の専門家がパネリストとなって、子どもとたばこについて話し合う。	70
●	●	HA2007-001	A-3	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 もの忘れ？アルツハイマー病？	年を取ると誰でも「もの忘れ」をしやすくなるが、生活に支障が出るようなもの忘れをするようになったら要注意。一度、「もの忘れ外来」を受診し、「認知症」が起きていないかチェックしよう。それというのも、認知症で一番大切なことは、早期発見・早期治療だからだ。 4回シリーズの1回目で、アルツハイマー病の検査、治療、予防について解説する。(山田正仁(金沢大学大学院教授))	15
●	●	HA2007-002	A-3	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 増えている レビー小体型認知症	「レビー小体型認知症」は1976年に症例が発見され、近年一般にも知られるようになった認知症の1つ。高齢者の意識がはっきりしている時に、具体的な幻視の症状が出た場合、この病気の可能性が高いという。また、パーキンソン病のような身体症状も現れるという。 4回シリーズの2回目で、「レビー小体型認知症」の症状の特徴や治療法について解説する。(小阪憲司(聖マリアンナ医科大学研究所長))	15
●	●	HA2007-003	A-3	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 ここまで防げる 脳血管性認知症	脳血管性認知症の原因となるのは、脳出血や脳こうそくなどの脳血管性障害。脳血管性認知症では脳出血を再発することに認知症が重度化していくため、脳出血などの原因疾患の再発を防ぐことがとても大切になる。脳出血などにつながる、高血圧や糖尿病などの生活習慣病を持っている人は、特に注意が必要だ。(長田乾(秋田県立脳血管研究センター部長))	15
●	●	HA2007-004	A-3	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 早期診断が大切	認知症では、早期に病気の種類を確定し、治療を開始することがとても大切だ。認知症の早期診断に、いま大きな成果を上げているのが「画像診断」。画像診断にはCT・MRI・SPECT・PET等の種類があり、それぞれを目的に応じて組み合わせることで、高い診断率が得られる。認知症の治療に大きな役割を果たしている画像診断の最新情報をお伝えする。(松田博史(埼玉医科大学教授))	15
	●	HA2007-010	B-3	からだ元気科 腰痛	日本人の半数以上が経験するという腰痛。腰痛の原因となる病気の中でも、今回は特に「椎間板ヘルニア」に焦点を当て、その最新の治療法(MED法)を紹介する。MED法は、内視鏡を使った手術法で、従来の手術に比べ格段に体への負担が少なく、そのため入院日数を短縮することができる。 また、ピラティスによる腰痛予防運動も紹介する。 「メディカルQ」のコーナーでは、細くて痛さを感じさせない注射針を紹介する。(出沢明(帝京大学医学部附属溝口病院)・江口優子・岡野雅行(岡野工業))	20
●	●	HA2009-001	A-3	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(1) 症状や原因を知る	統合失調症の主な症状について解説する。 統合失調症は、脳の一部の機能がバランスを崩して起こる病気と考えられており、その症状には、主に『陽性症状』『陰性症状』『認知機能障害』がある。 『陽性症状』は、「幻聴」「幻視」「幻臭」「幻触」などの「幻覚」と、「妄想」が特徴的な症状。『陰性症状』は「感情表現がにぶくなる」「考える力の低下」で「意欲の減退」が主な症状である。『認知機能障害』は、独特の情報の受け取り方や行動の選択をして状況に応じた適切な行動がとれずに日常生活に支障をきたす認知障害である。(丹羽真一(福島県立医科大学教授))	15
●	●	HA2009-002	A-3	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(2) 最新の薬物治療	統合失調症に使われる主な薬について解説する。 統合失調症は、脳の神経伝達物質の働きが強すぎたり弱すぎたりして、脳の一部の機能のバランスが崩れるために起こる。このため治療には神経伝達物質のバランスを整える作用がある「抗精神病薬」を使用する。『抗精神病薬』は「従来型抗精神病薬」と「新規抗精神病薬」に大きく分類される。それぞれの効果や副作用について説明する。(丹羽真一(福島県立医科大学教授))	15
●	●	HA2009-003	A-3	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(3) 自立した社会生活に向けて	統合失調症の治療の基本の1つである精神療法や心理社会療法について解説する。薬物療法にこれらの治療法を組み合わせることで、再発する確率を低く抑えることができる。精神療法は、病気で負った心の傷やダメージを癒すことが目的。心理社会療法は、作業や訓練を通じて社会復帰のためのリハビリを行う。(丹羽真一(福島県立医科大学教授))	15
	●	HA2009-004	B-3	ためしてガッテン 急増！新型難聴の恐怖	難聴の原因は騒音や加齢だと思われていたが、最新の研究で思わぬものが聞こえに影響していることがわかった。また最近の調査では、難聴が高齢者の引きこもりや認知症につながるケースも報告されている。音は耳で聞くものか？それとも〇〇で聞くものか？驚きの実験を交えながら、最新の研究を基に改めて難聴を解明する。(山瀬まみ・伊東ゆかり・円広志・立川志の輔)	43
●		HA2009-007	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 なぜ起きる 症状と診断	めまいは耳の病気であることのサインが7割、脳の病気のサインであることが2割を占める。しかも命にかかわる病気の場合もある。めまいの症状と診断について、東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科の山本昌彦さんが解説する。(山本昌彦)	15
●		HA2009-008	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 耳鳴り・難聴を伴うとき	耳が原因でめまいを起こす病気の中で、耳鳴りや難聴を伴うメニエール病と突発性難聴についてその症状や診断、治療法について、東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科の山本昌彦さんが詳しく解説する。(山本昌彦)	15
●		HA2009-009	B-3	きょうの健康 もう悩まない！めまいの新対策 突然起こる強いめまい	めまいを起こす病気の中で耳鳴りや難聴を伴わない、良性発作性頭位めまい症と前庭神経炎について解説する。また、めまいを起こす病気の1つの原因が、生活習慣に関係しているということで、日常生活の注意点や予防法の運動を紹介する。(山本昌彦)	15
●		HA2009-010	B-3	きょうの健康 Q&A もう悩まない！めまいの新対策	めまいは命にかかわる病気につながるものもある。めまいの原因は7割が耳からくる病気で2割が脳からくる病気である。Q&Aでは特に耳の病気からくるめまいについて視聴者の相談に答える。 生活ビタミンのコーナーでは、お風呂場や押し入れのカビ対策を紹介する。(松岡きっこ・山本昌彦)	44
●		HA2012-002	B-3	きょうの健康 耳が聞こえにくいと感じたら 老化？病気？	耳の聞こえは、年齢を重ねると徐々に悪くなる。老化に伴って起こる難聴を加齢性難聴と言うが治療の方法はない。そのほかにも、治療の必要な病気が原因で起こる難聴もある。加齢性難聴のしくみや治療が必要な難聴について解説する。(細井裕司)	15